

令和8年度

学校経営方針

練馬区立石神井台小学校長 田村亜紀子

教育目標

- 心ゆたかで たくましい子を育てる
- 一 思いやりのある子
 - 二 すすんで学ぶ子
 - 三 さいごまでやりぬく子
 - 四 じょうぶなからだをもった子

目指す学校像

学校は、夢をかりたて、希望を育てる場所です。それは、明日の登校や出勤を楽しみにする児童と教職員にあふれ、一度、来校した方が、また来たくなるようなところです。

石台小の合い言葉

笑顔あふれる石台小
～自分もよく 相手もよく みんなもよく～

教育目標を達成するための取組

心ゆたかでたくましい子を育てる

○思いやりのある子

- ・自他の生命を尊重し、豊かな心をもつ児童を育てます。

「特別の教科 道徳」の授業を充実させ、児童が、自己を見つめ、よりよく生きていくための社会性や豊かな心を育てます。

- ・一人一人のよさを認めながら、望ましい人間関係を培い、受容的な集団を育て、「いじめをしない・させない」を貫く学級・学校をつくります。

学級活動を基盤とし、児童一人一人の正しい自己肯定感を高めるとともに、互いに認め、助け合える学級・学校集団をつくります。

異学年や地域の方々などの交流を通して、様々な考えや立場を理解する心を育てます。

一人一人がキャリアパスポートを作成し、自分の学びや成長を実感しながら、よりよく生きるためにがんばる心を育てます。

○すすんで学ぶ子

- ・思考力、判断力、表現力を育てます。

学習のねらいを明確にした授業を展開し、児童の「分かった!」「できた!」があふれる学校にします。

貸与するタブレットを効果的に活用し、児童の自ら学びを保証するとともに、情報リテラシーを考える学習活動を進めていきます。

- ・言語活動（聞く、話す、書く）の充実を行います。

朝の読書タイムや読み聞かせ、読書旬間の取組などを通して、豊かな語彙を身に付け、自分の思いや考えを書こうとする児童を育てます。

○さいごまでやりぬく子

- ・学習課題に対して、粘り強く学びぬく子を育てます。

自由進度学習や、一部教科担任制を行うことにより、教師が個別に状況を把握し、一人一人のもっている力を一層伸ばしていけるよう、学習方法を工夫します。

- ・自分の役割を果たすことで得られる、充実感や自己肯定感、自己有用感を大切にします。

日常的な係や当番活動や、委員会活動・行事における役割など、様々な場面で役割を担当し、やりきれたことを認める活動を積み重ねます。

○じょうぶなからだをもった子

- ・体育の授業や休み時間の運動を通して、子供たちの体力を向上させます。

体力テストの結果なども生かしながら、体育の授業を充実させ、児童一人一人の体力向上を図ります。

短なわや長なわなどのなわ跳びの取組などを通して、進んで運動に取り組む態度と、たくましい心を育てます。

児童の学びを支える取組

○家庭、地域との連携

- ・家庭、地域と連携した教育活動の充実を図ります。

学校からの情報発信の方法を工夫します。また、「10分×学年」を目安に、家庭学習の習慣化が図られるよう、家庭と連携していきます。

中学校・幼保育園との連携や、高齢者施設との交流など、地域の教育力を積極的に活用していきます。

○教職員の資質の向上

- ・研修などを通して指導力の向上を図ります。

中学校・幼保育園との連携や、高齢者施設との交流など、地域の教育力を積極的に活用していきます。

- ・教職員が協力して子供のために働きます。

全職員で協力して、安全で安心な学校として、児童が学びやすい環境をつくります。

- ・社会人としての常識、公務員としての良識を身に付けた教員の育成を図ります。

教職員が、場に応じた服装や正しい言葉遣いをし、職務に専念するとともに、服務事故を絶対に起こしません。